

適用機種  
CBR400R

## グリップヒータアタッチメント 取付説明書

販売店様へ

この取付説明書は、必ずお客様にお渡しください。

お客様へ

この取付説明書は、必ず保管してください。

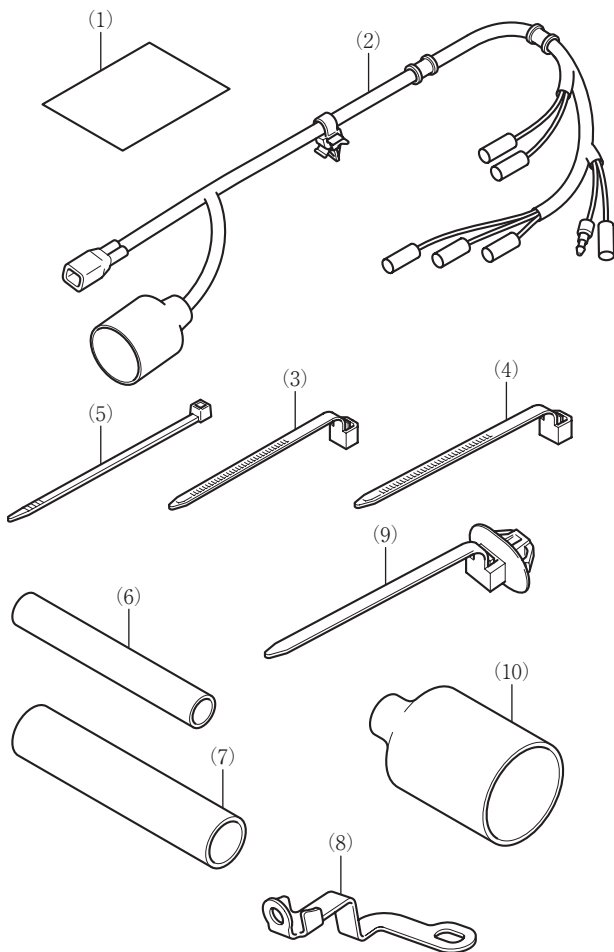
シンボルマークについて

下記のシンボルマークは、本書を通して作業上の注意事項を表示しています。

- 危険** 指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの
- 警告** 指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性のあるもの
- 注意** 指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの
- アドバイス** お車と用品のために守っていただきたいこと
- 知識** 知っておいていただきたいこと知っておくと便利なこと

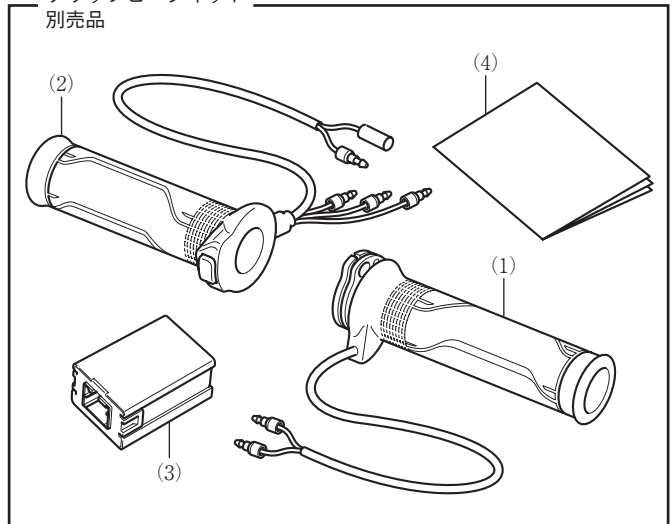
### 構 成 品

取扱説明書及び取付要領書が同梱されているときは、必ずお客様にお渡しください。



見出し番号	部品名称	個数
(1)	URL ペーパー	1
(2)	グリップヒータハーネス	1
(3)	ハーネスバンド (太/短)	1
(4)	ハーネスバンド (太/長)	1
(5)	ハーネスバンド (細)	7
(6)	チューブ (細)	2
(7)	チューブ (太)	1
(8)	クランプ	1
(9)	クリップバンド	1
(10)	コネクタカバー (使用しません。)	1

グリップヒータキット  
別売品



見出し番号	部品名称	個数
(1)	右側グリップヒータ	1
(2)	左側グリップヒータ	1
(3)	コントローラ	1
(4)	取扱説明書	1

### 必 要 工 具

- ・ ニッパ
- ・ 定規
- ・ マーカ
- ・ ビニールテープ
- ・ はさみ
- ・ Honda ボンド A
- ・ グリース
- ・ 脱脂洗浄剤 (イソプロピルアルコール)
- ・ ウェス
- ・ 車両の部品の取り外し、取り付けに必要な工具は、サービスマニュアルを参照してください。

### トルクについて

- ・ 車両の部品の締め付けトルクはサービスマニュアルを参照してください。

## 取付について

### ⚠警告

- 各スクリュー、ボルト、ナットは確実に締め付けてください。締め付けが不確実なときは走行中に脱落し、運転者または後続車の乗員や歩行者を死亡または重大な傷害に至らしめる可能性が高くなります。
- フューエルタンクの取り外し、取り付けには十分に注意し、サービスマニュアルを参照の上作業をしてください。ガソリンは非常に引火しやすいため、火の気のない場所で作業してください。電気のスパークによる火花にも十分に注意してください。また、蒸発（気化）したガソリンは爆発の危険もあるため、通気の良い場所で作業してください。
- スロットルケーブルを車両から取り外すときはプライヤなどで無理に外さないでください。スロットルケーブルが折れ曲がりスロットルの戻り不良が原因で転倒事故などを起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。
- 左側グリップヒータとハンドルの接着を確実にを行うために必ず指定の接着剤（Honda ボンド A）を使用し、接着されるまで乾燥させ、必ず確実に接着されているか確認してください。指定外の接着剤を使用したり、十分な乾燥時間をとらないと走行中にグリップヒータが外れることが原因で転倒事故などを起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。
- 右側グリップヒータを車両に取り付けたときは必ずスロットルの開閉を行い、引っかかりが無いを確認してください。確認をおこたると、スロットルの戻り不良が原因で転倒事故などを起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。

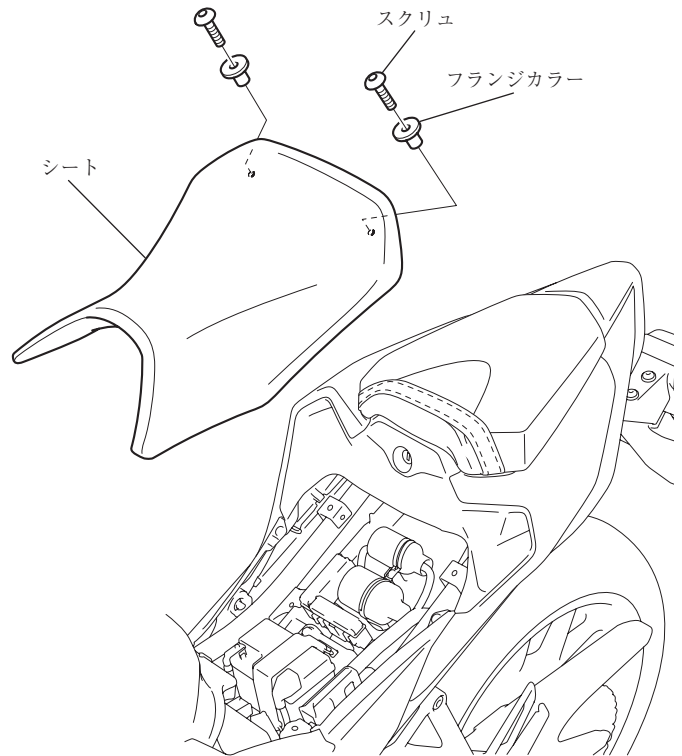
### ⚠注意

- 取り付け作業はエンジン、マフラが完全に冷えてから行ってください。高温のまま作業を行うと、火傷などを負う可能性が高くなります。
- 取り付けは、必ずバッテリーケーブル（-）を外してから行ってください。
- バッテリーを外すと、時計などがリセットされるので再度設定してください。
- 取り外した部品は、元の仕様に戻すとき必要になりますのでお客様にお渡しください。
- 外装部品などの再取り付け時、配線類のかみ込みがないことを確認してください。
- 取り付け完了後、灯火器（ヘッドライト、左右のウインカ、ブレーキライト）の作動確認およびスロットルグリップの引っかかりが無いことを確認してください。
- ハーネスバンドの余った部分はカットしてください。また、カットした部分が他のハーネスやブレーキホースなどに干渉しないようにしてください。

## 取付方法

### 1. 車両部品の取り外し

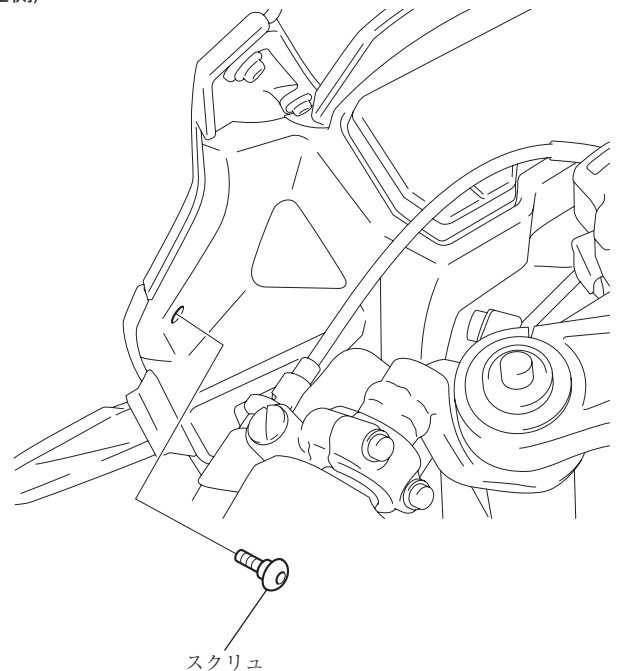
- 1) 図のようにシートを取り外し、バッテリーケーブル（-）を取り外す。



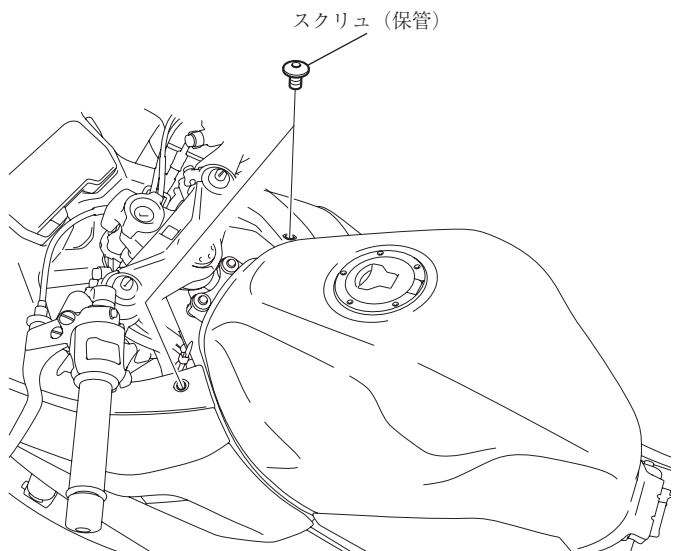
- 2) 図のようにスクリューを取り外す。

- ・右側も同様に取り外してください。

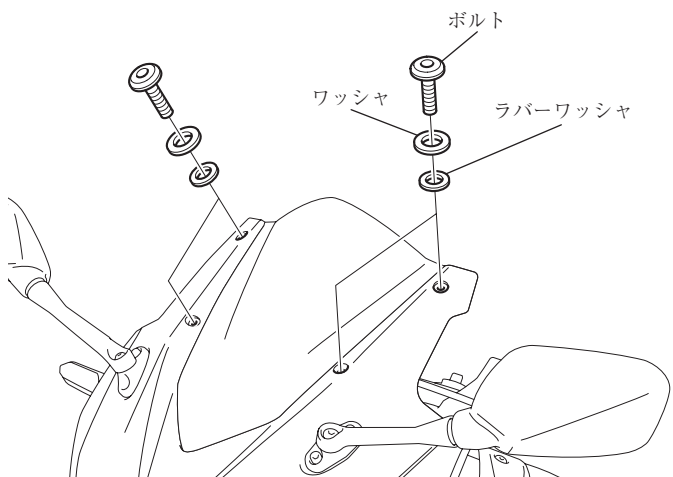
〈左側〉



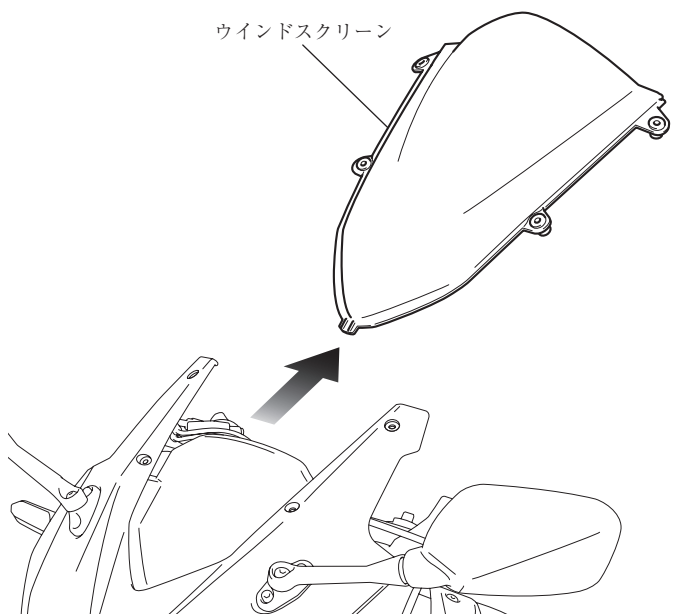
3) 図のようにスクリュを取り外す。



4) 図の部品を取り外す。

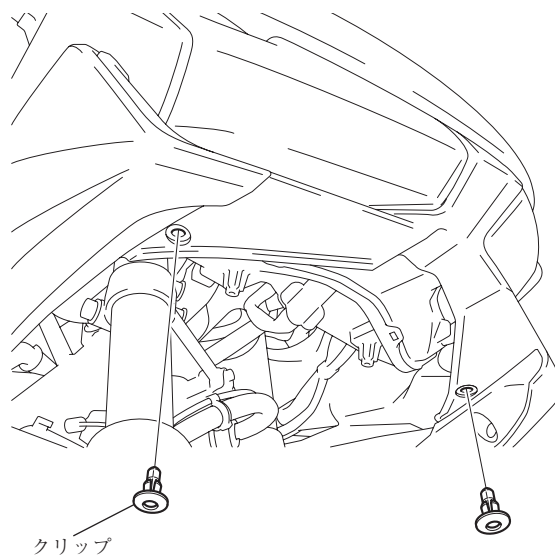


5) 図のようにウインドスクリーンを取り外す。

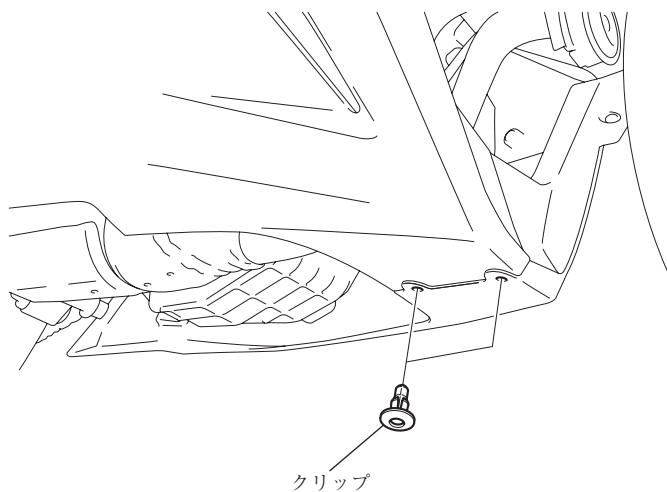


6) 図のようにクリップを取り外す。

〈前側〉

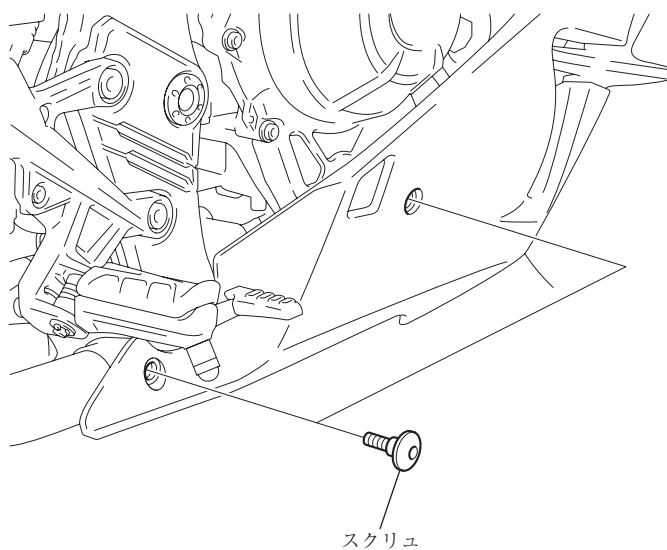


7) 図のようにクリップを取り外す。



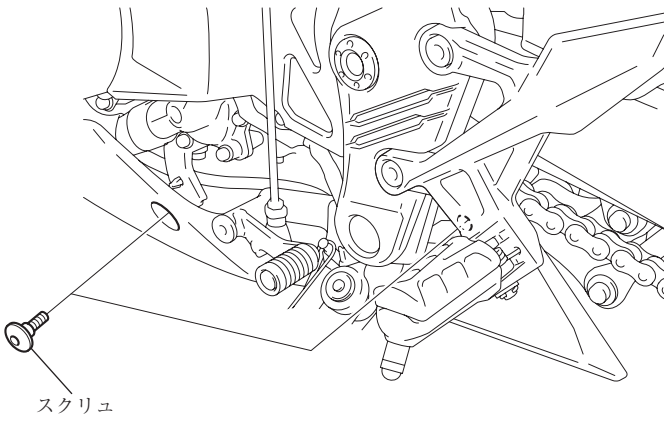
8) 図のようにスクリュを取り外す。

〈右側〉



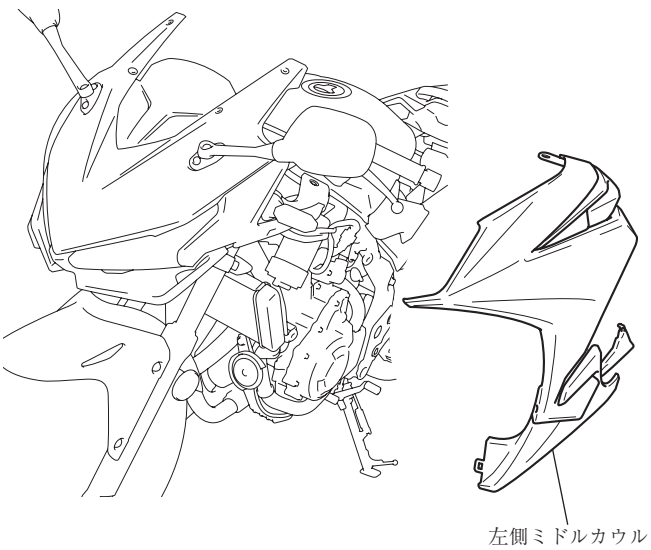
9) 図のようにスクリュを取り外す。

〈左側〉



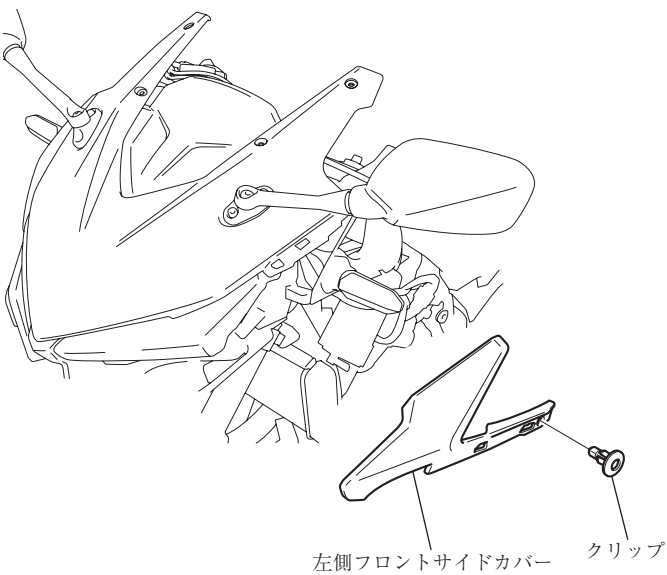
10) 図のように左側ミドルカウルを取り外す。

〈左側〉



11) 図のように左側フロントサイドカバーを取り外す。

〈左側〉

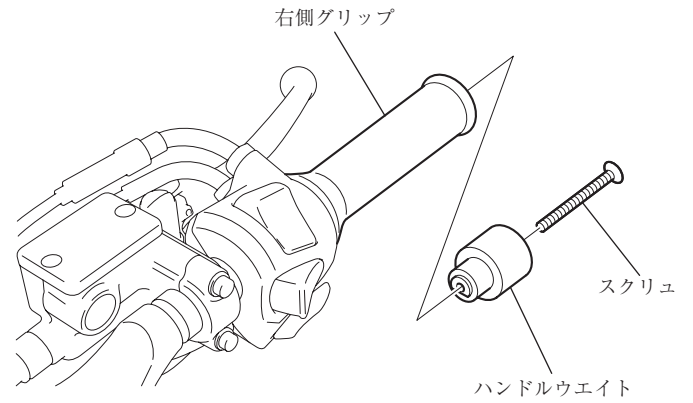


12) 左側と同様に右側ミドルカウル、右側フロントサイドカバーを取り外す。

13) 図のようにハンドルウエイトを取り外す。

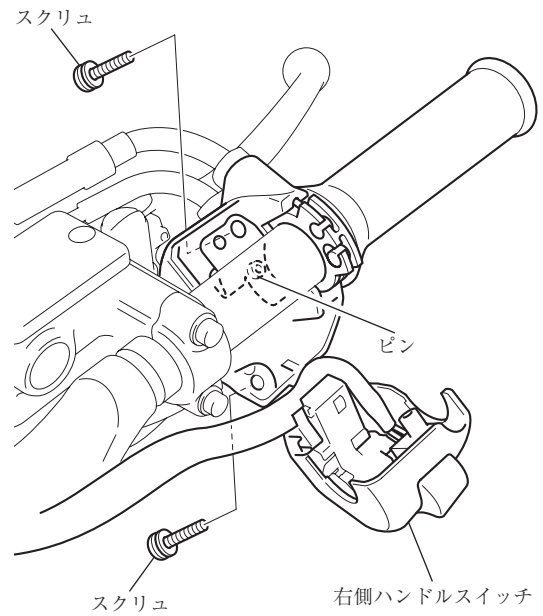
・左側も同様に取り外してください。

〈右側〉



## 2. 右側グリップヒータの取り付け

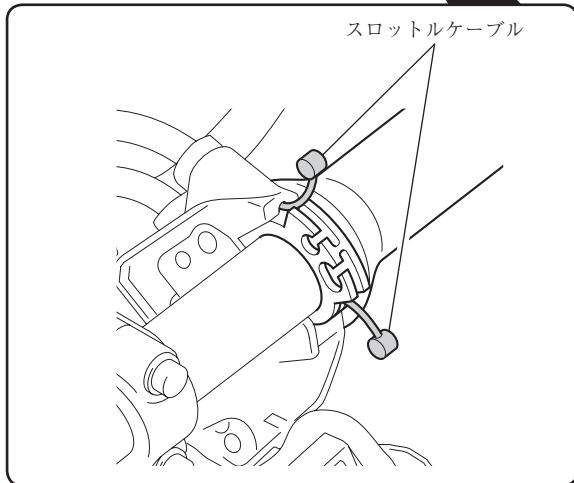
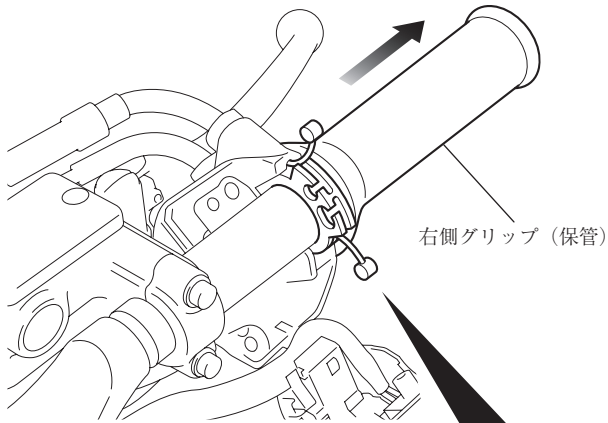
1) 図のように右側ハンドルスイッチを取り外す。



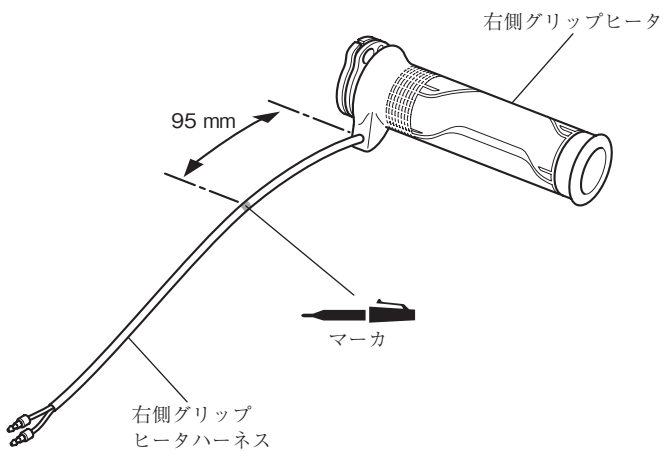
2) 図のように右側グリップを取り外す。

**警告**

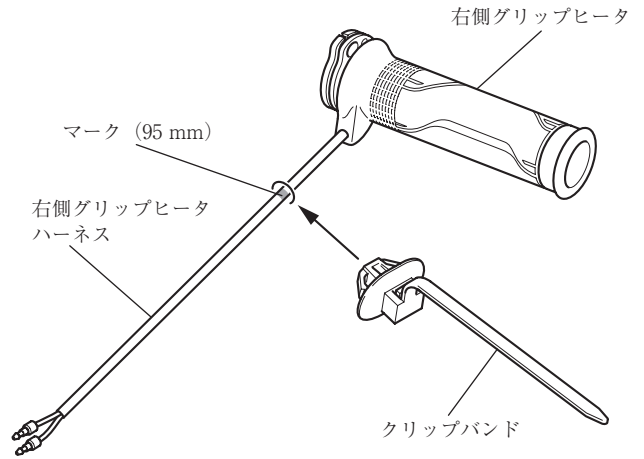
- ・ スロットルケーブルを右側グリップから外すときは、プライヤなどで無理に外さずに必ず車両のサービスマニュアルを参照してください。  
無理にプライヤなどで外すとケーブルが折れ曲がり、スロットルの戻り不良が原因で転倒事故などを起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。




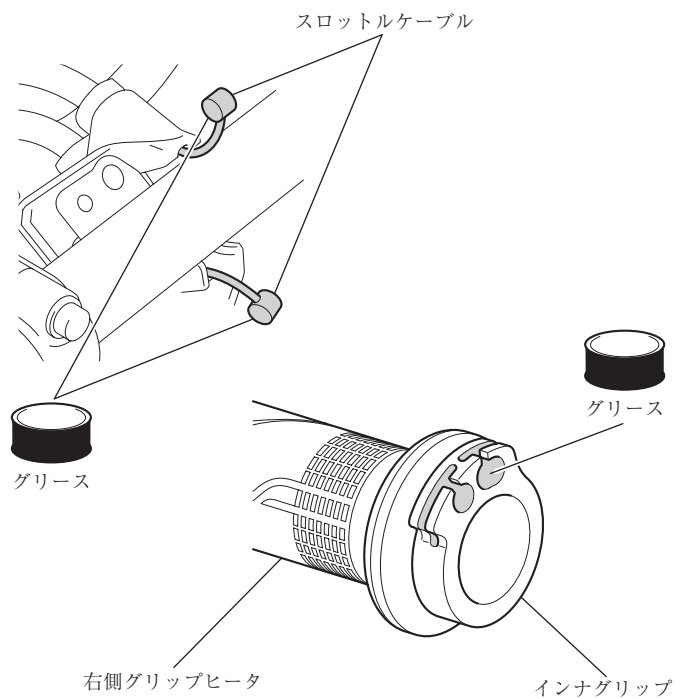
3) 図の寸法で右側グリップヒータにマークを付ける。



4) 図のようにクリップバンドをマーク部に取り付ける。

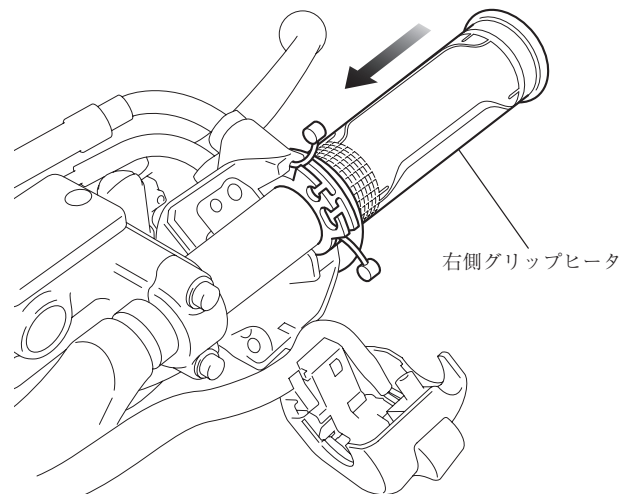


5) 図の  部にグリースを塗布する。



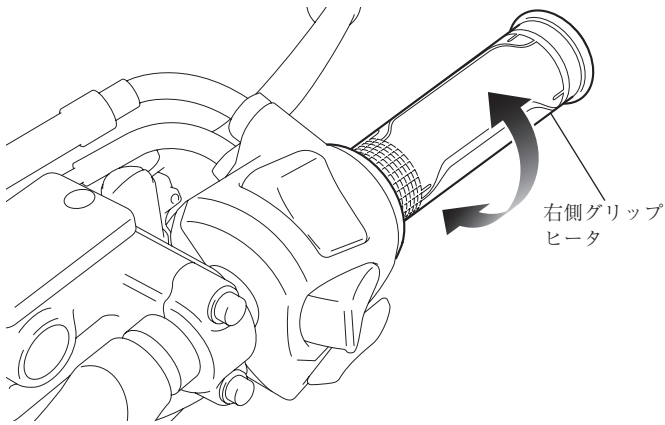
6) 取り外しの逆手順で右側グリップヒータ、右側ハンドルスイッチを取り付ける。

- ・ 取り付け後、サービスマニュアルを参照してスロットルの遊びを調整してください。

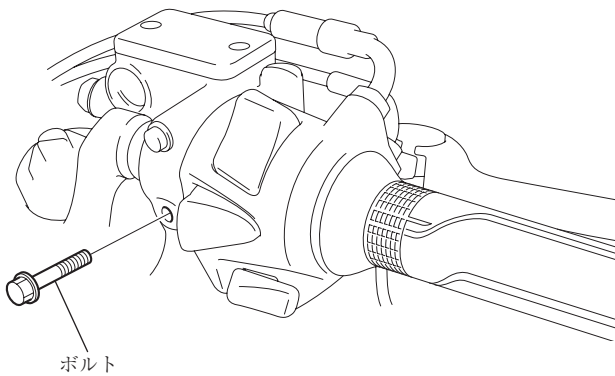




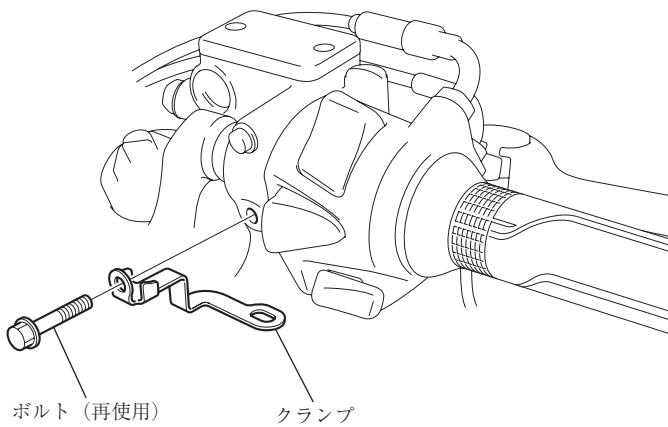
- 7) 図のようにスロットルの開閉を行う。  
 ・開閉がスムーズに行われるか確認してください。



- 8) 図のようにボルトを取り外す。

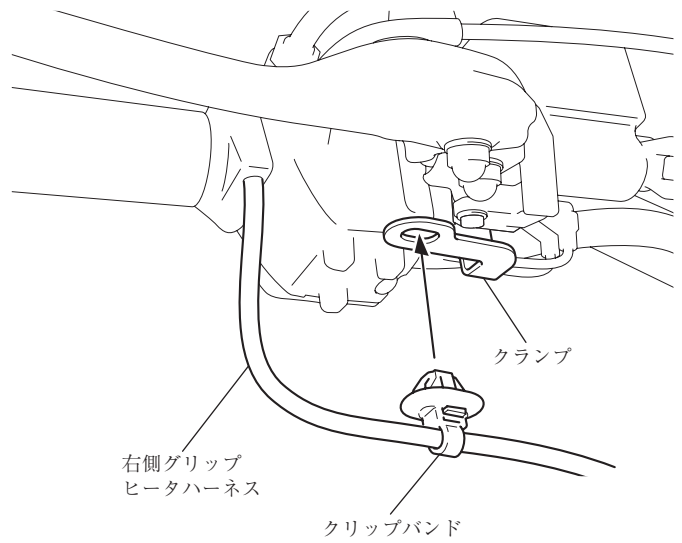


- 9) 図のようにクランプを取り付ける。



- 10) 図のように右側グリップヒータハーネスを固定する。  
 ・スロットルの開閉を行い、グリップヒータハーネスの引きつりが無いことを確認してください。

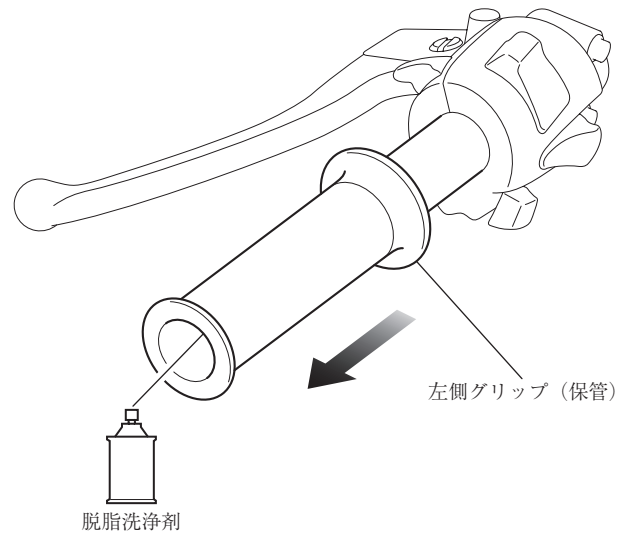
〈右側〉



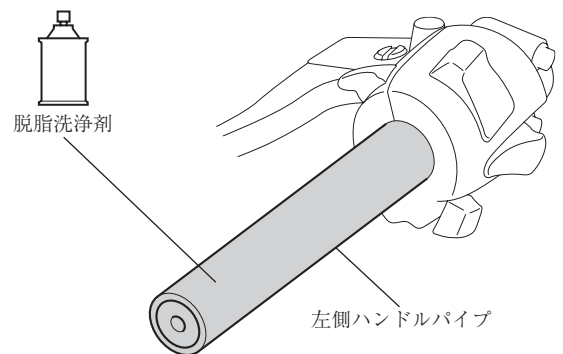
### 3. 左側グリップヒータの取り付け

- 1) 図のように左側グリップを取り外す。

〈左側〉



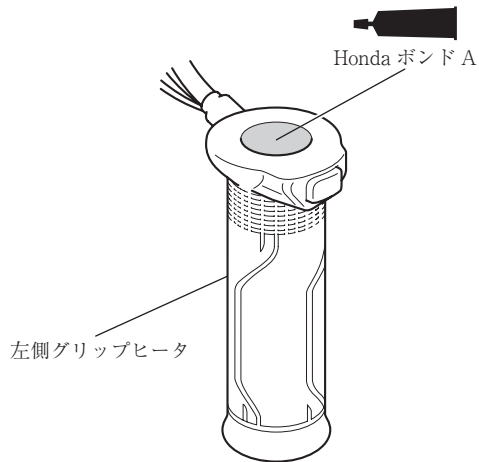
- 2) 脱脂洗浄剤を使用し、左側ハンドルパイプに付いている接着剤を取り除く。



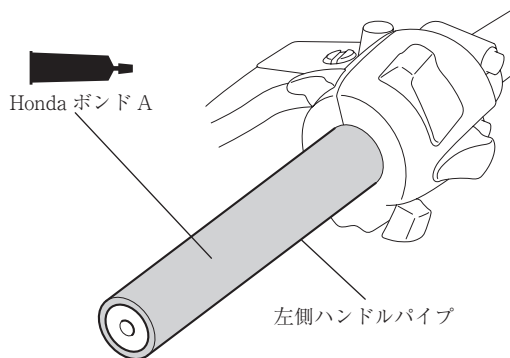
3) 左側グリップヒータの穴周辺に Honda ボンド A を多めに塗布する。

**🏍️ アドバイス**

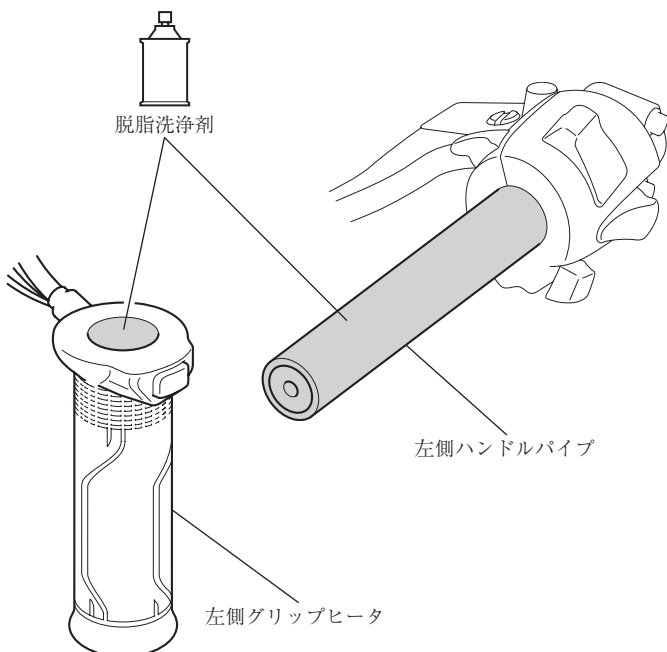
・手順 3) ~ 6) は、作業内容を一読し全て確認してから、接着剤が乾かないうちに作業してください。また、車両が倒れないように補助を一人付けてください。



4) 図のように左側ハンドルパイプに Honda ボンド A を塗布する。



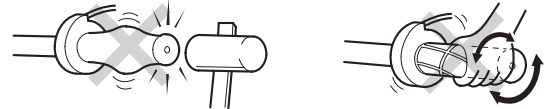
5) 脱脂洗浄剤を左側グリップヒータ内周面、左側ハンドルパイプ外周面にスプレーする。  
・取り付け位置を合わせやすくするために行います。



6) 図の位置に左側グリップヒータを取り付ける。  
・はみ出た接着剤は拭き取ってください。

**🏍️ アドバイス**

・グリップヒータを挿入するとき、「グリップエンドをハンマでたたく」「グリップを強くねじる」などは行わないでください。グリップヒータ内で断線する恐れがあります。

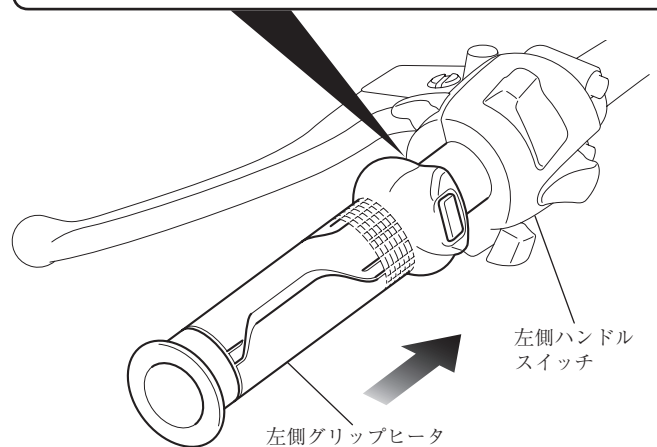
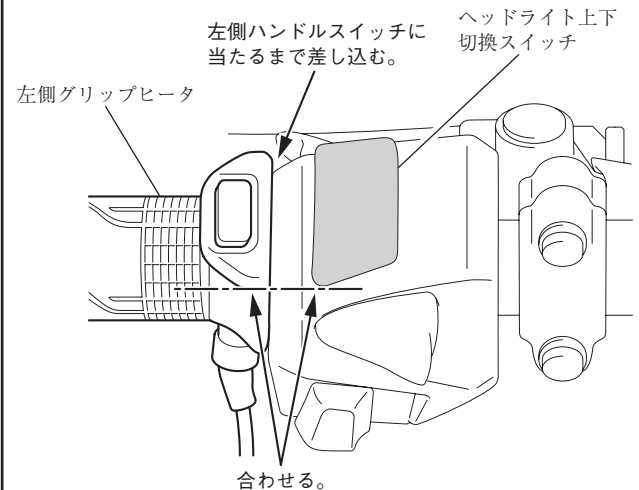


・左側グリップヒータを挿入するとき、スイッチ部を押しての挿入は行わないでください。スイッチ部が破損する恐れがあります。また、スイッチホルダとの隙間がないように取り付けてください。



・万一、グリップヒータが途中で入らなくなったときは、グリップヒータとハンドルパイプの隙間に脱脂洗浄剤を入れて取り外してください。無理に配線ドライバなどでこじ開けると、グリップヒータ内で断線する恐れがあります。

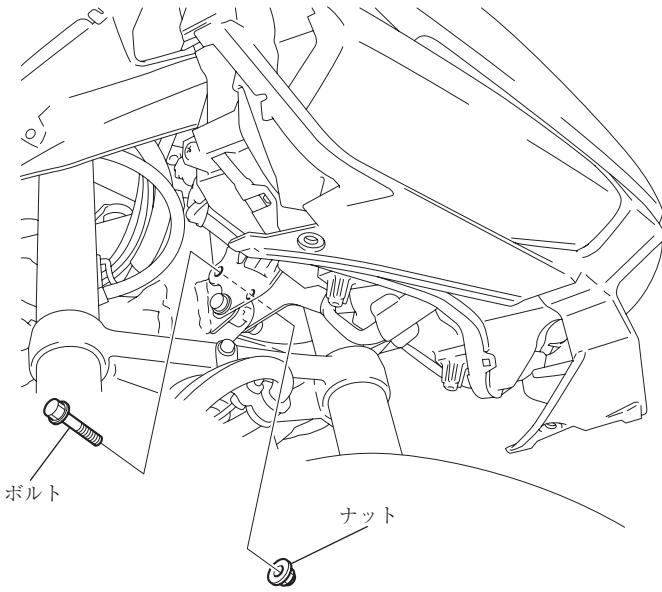
左側ハンドルスイッチに当たるまで差し込み、図の位置に合わせる。



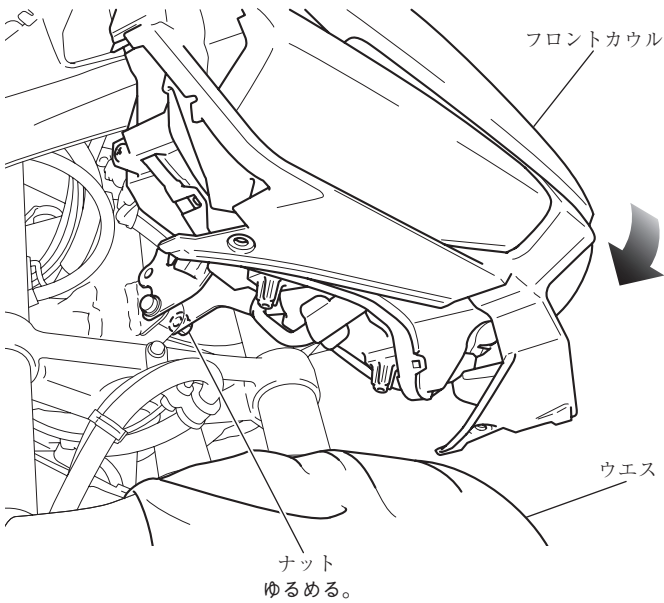
4. 各ハーネスの取り廻し

1) 図の部品を取り外す。

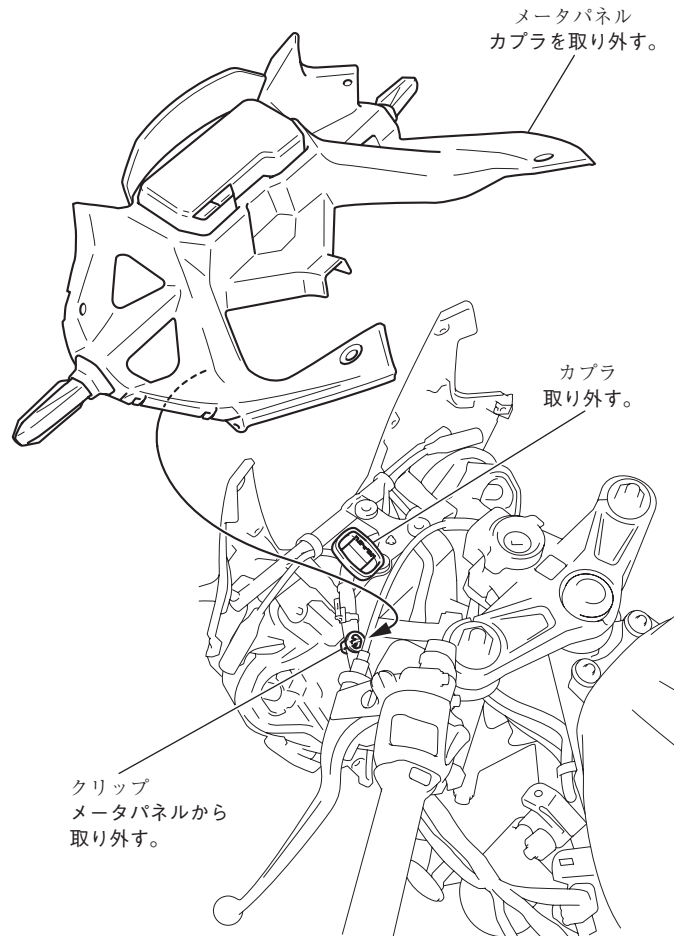
〈前側〉



2) 図のようにナットをゆるめ、フロントカウルを下げる。  
・フロントフェンダが傷つかないようにウエスなどで保護してください。

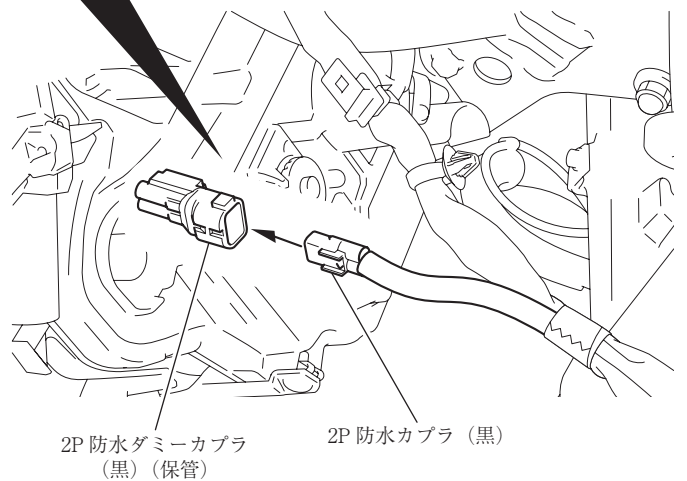
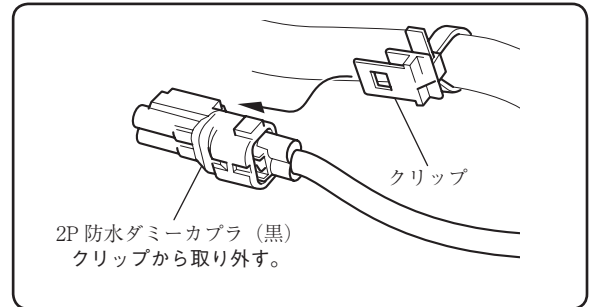


3) 図のようにメータパネルを取り外す。



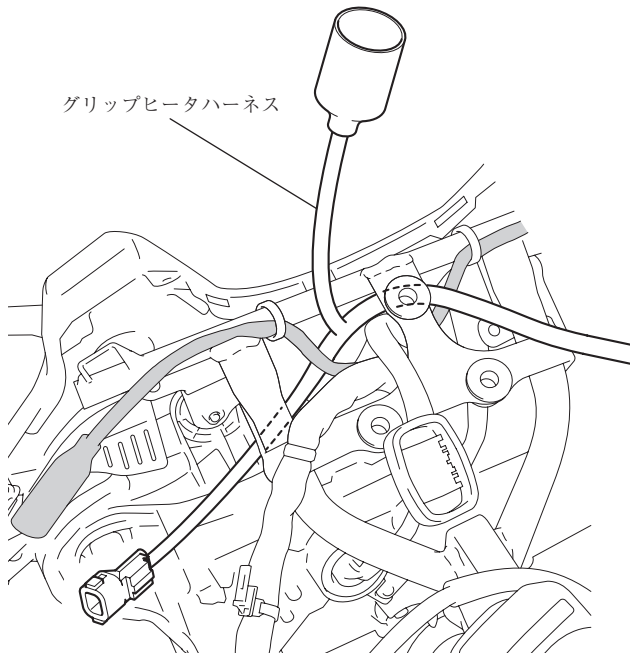
4) 図のようにダミーカブラを取り外す。

〈左側〉

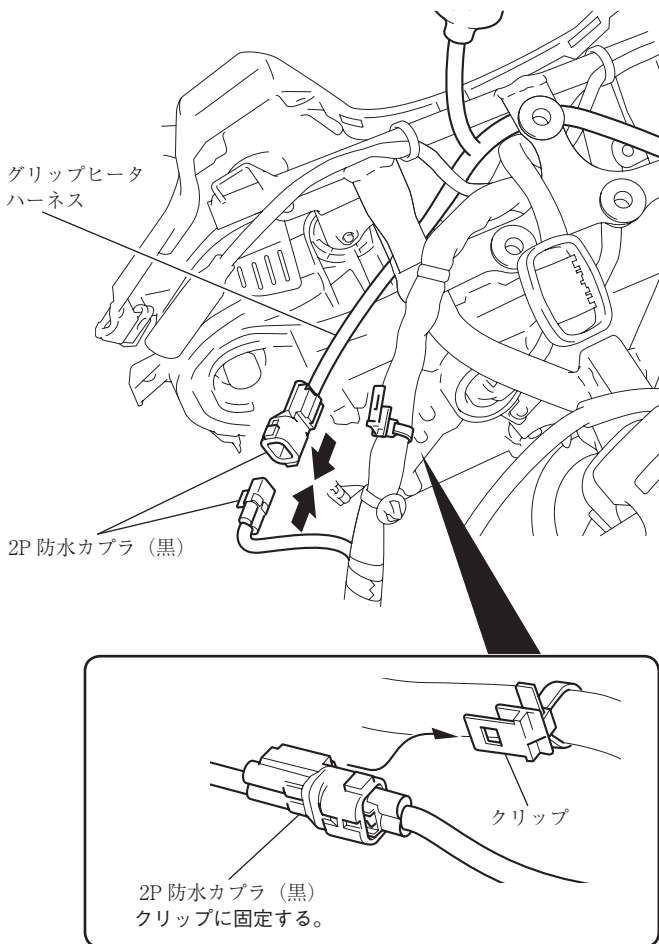




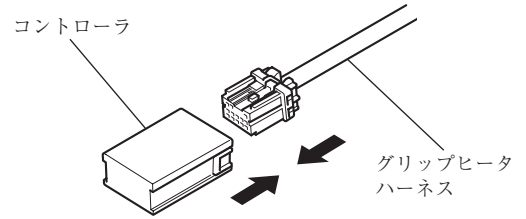
5) 図のようにグリップヒータハーネスを取り廻す。



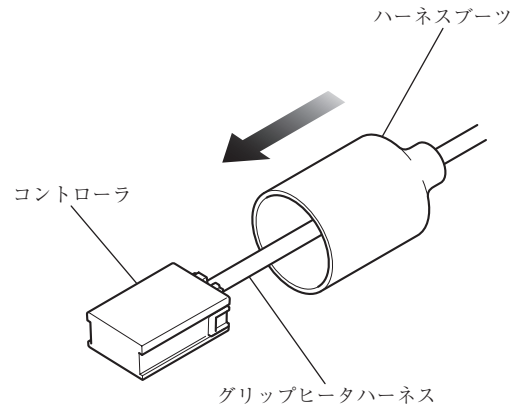
6) 図のようにグリップヒータハーネスを接続する。



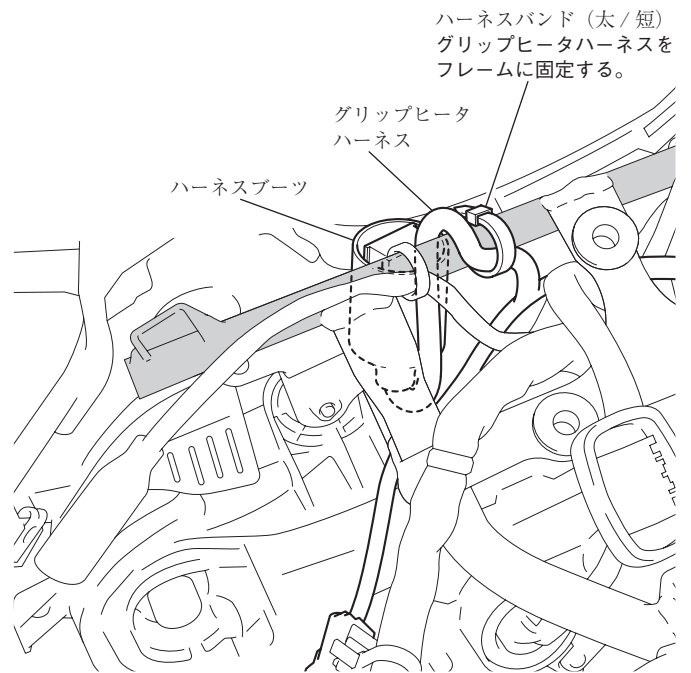
7) 図のようにコントローラを接続する。



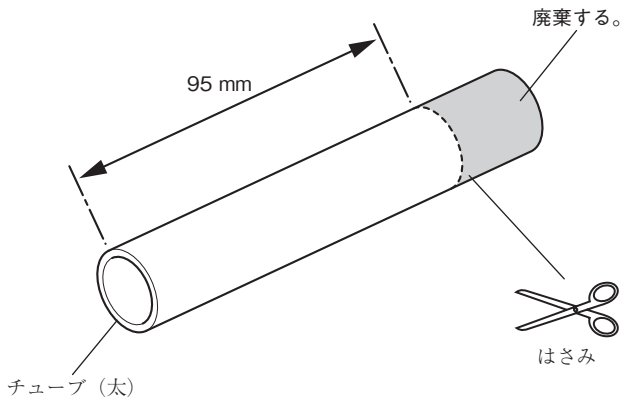
8) 図のようにハーネスブーツをかぶせる。




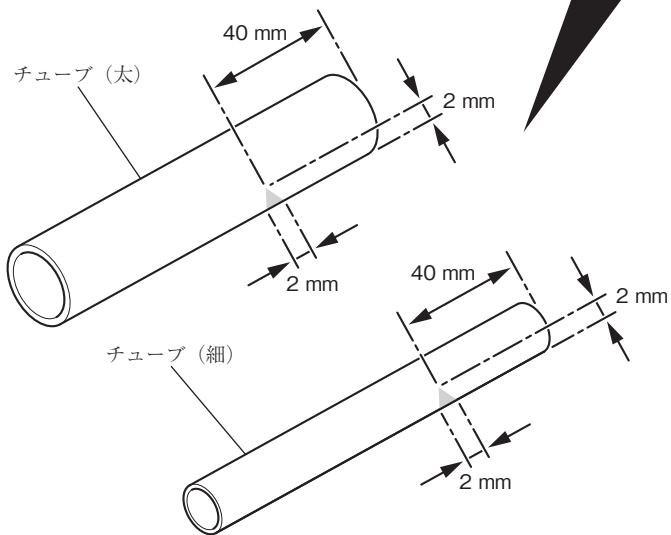
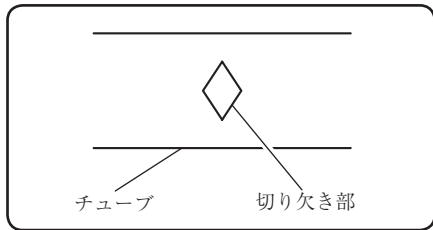
9) 図のようにグリップヒータハーネスをバンドで固定する。  
・ハーネスバンドの余った部分はカットしないでください。



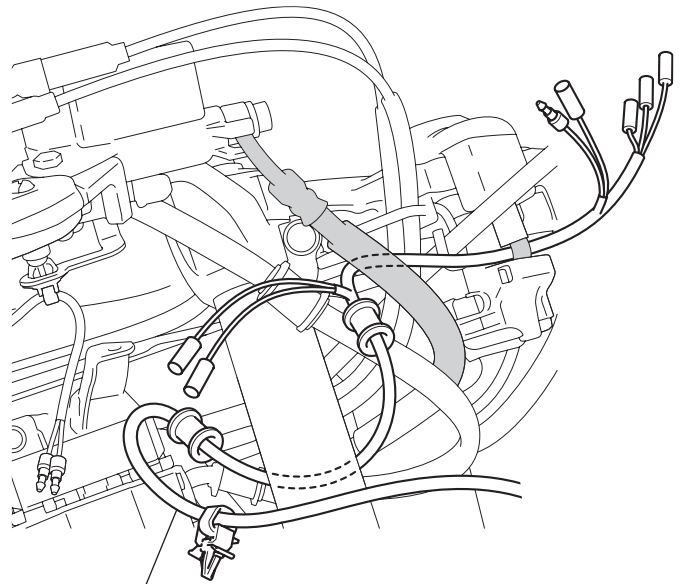
10) 図のようにチューブを加工する。



11) 図のようにチューブの  部分を切り取る。  
 ・チューブ (細) は一本のみ加工してください。

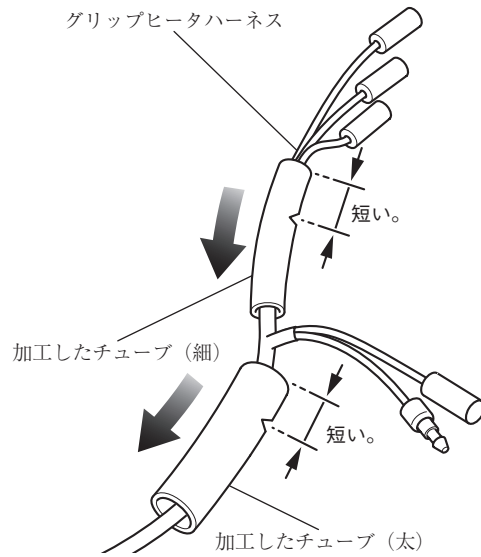


12) 図のようにグリップヒータハーネスを取り廻す。  
 〈右側〉

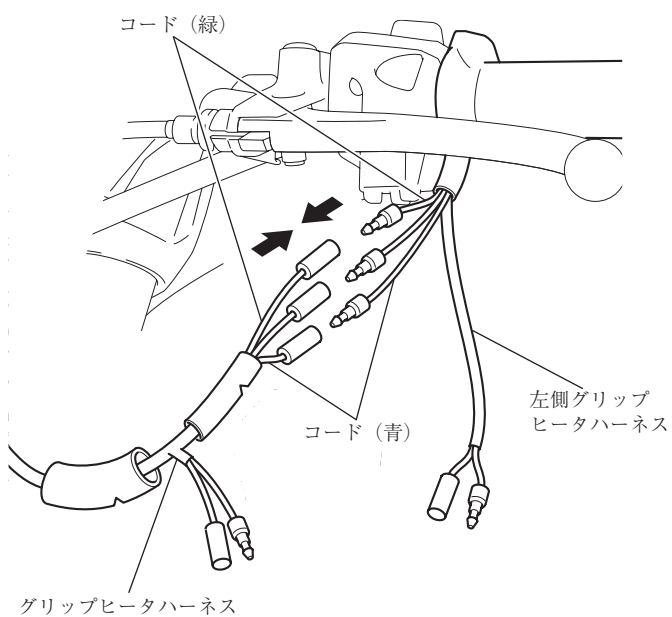


グリップヒータハーネス

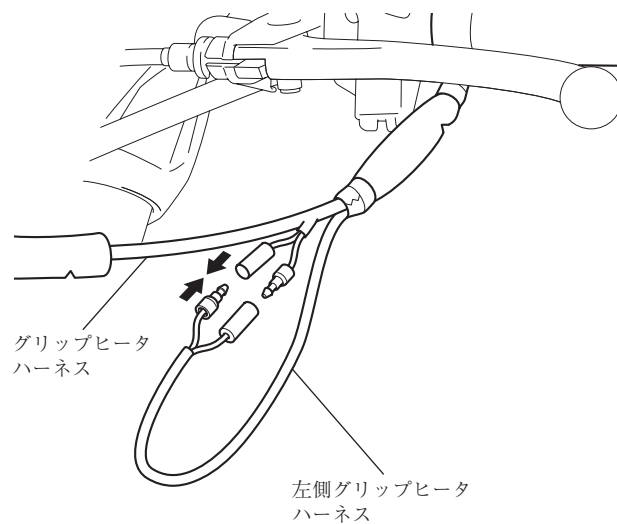
13) 図のように加工したチューブをグリップヒータハーネスに通す。



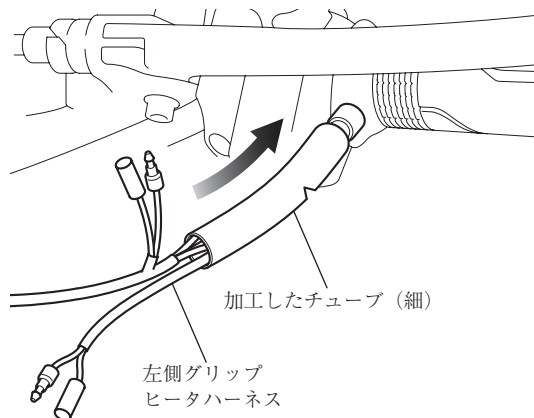
14) 図のようにグリップヒータハーネスを接続する。  
 (左側)



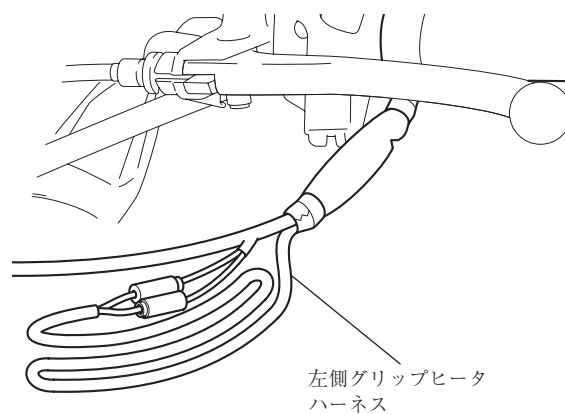
17) 図のようにグリップヒータハーネスを接続する。



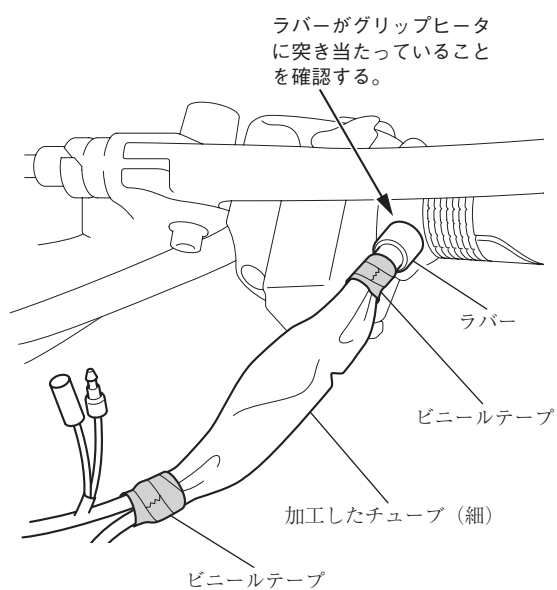
15) 図のように加工したチューブを通す。



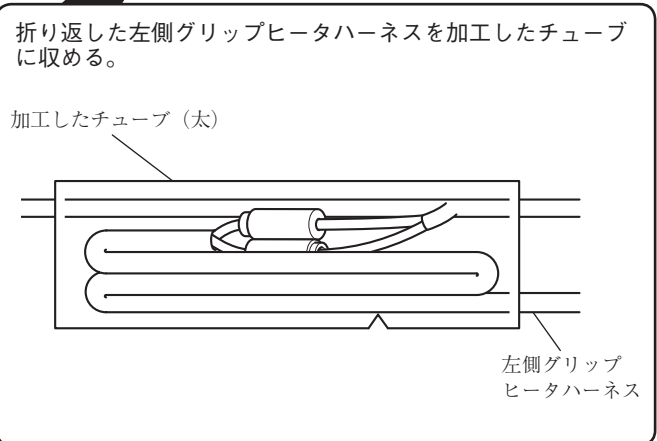
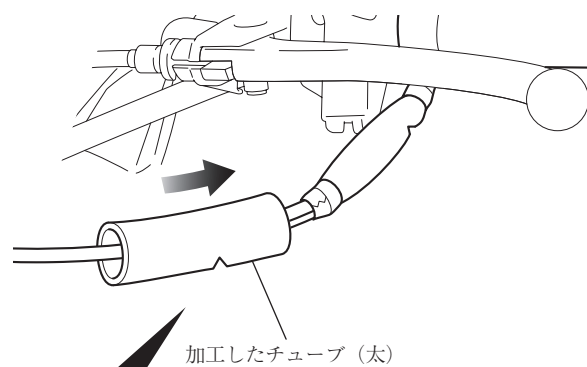
18) 図のように左側グリップヒータハーネスを折り返す。



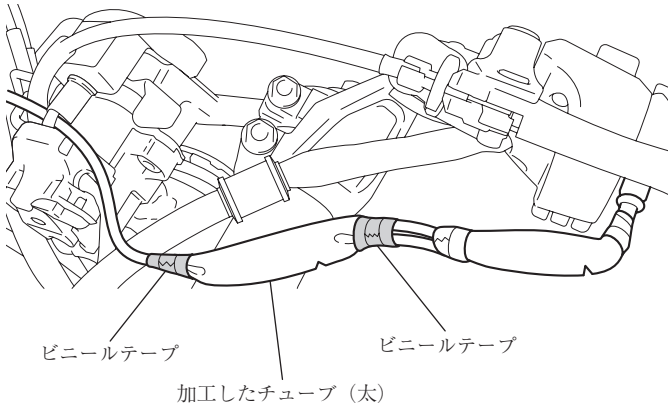
16) 図のようにチューブをテープで固定する。



19) 図のように加工したチューブをかぶせる。

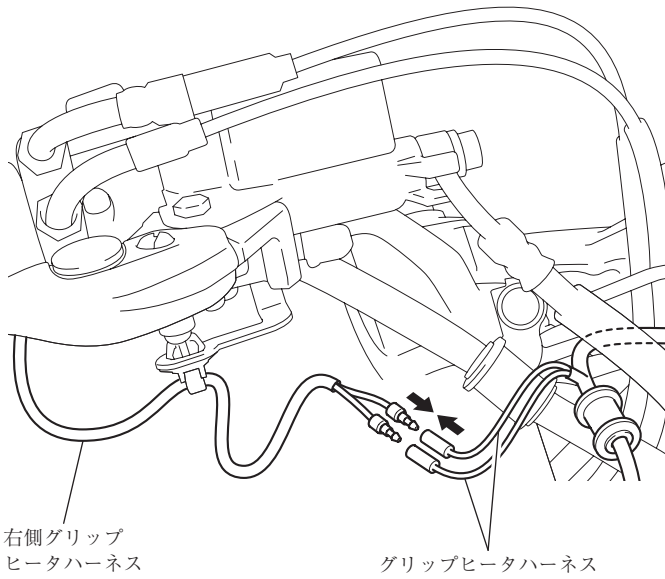


20) 図のようにチューブをテープで固定する。

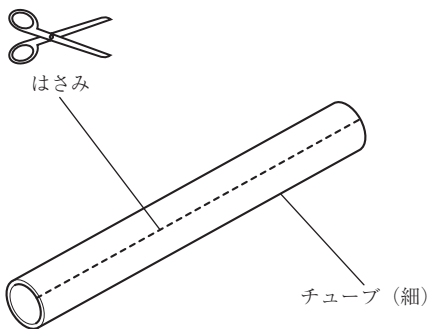


21) 図のように右側グリップヒータハーネスを接続する。

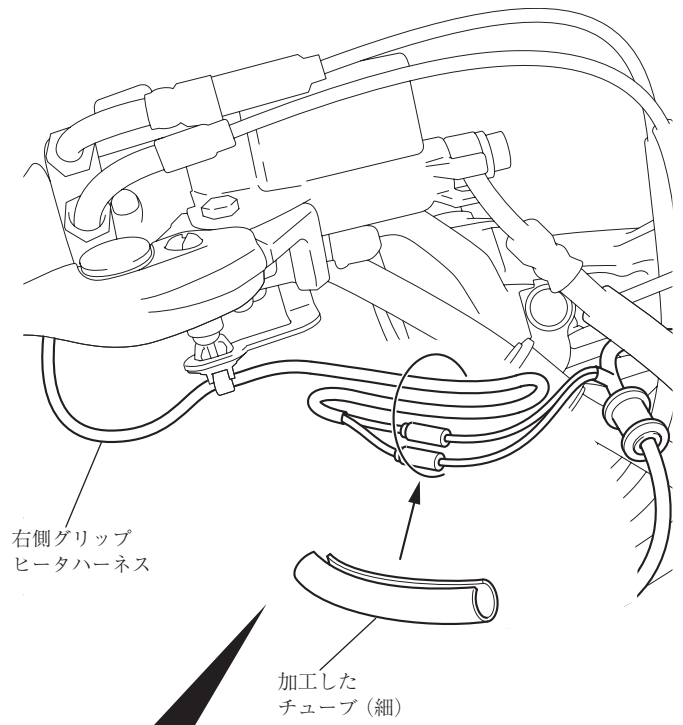
〈右側〉



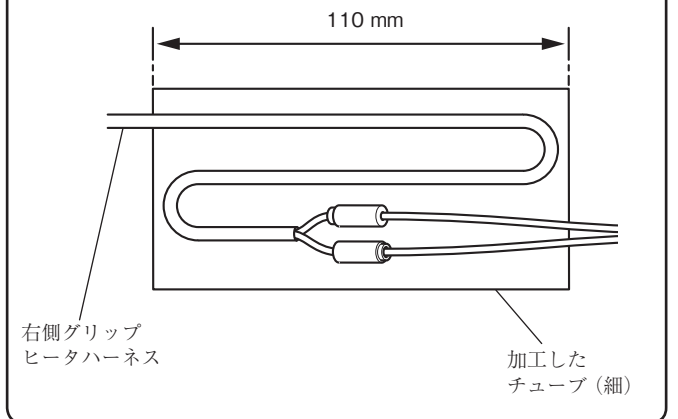
22) 図のようにチューブ (細) を加工する。



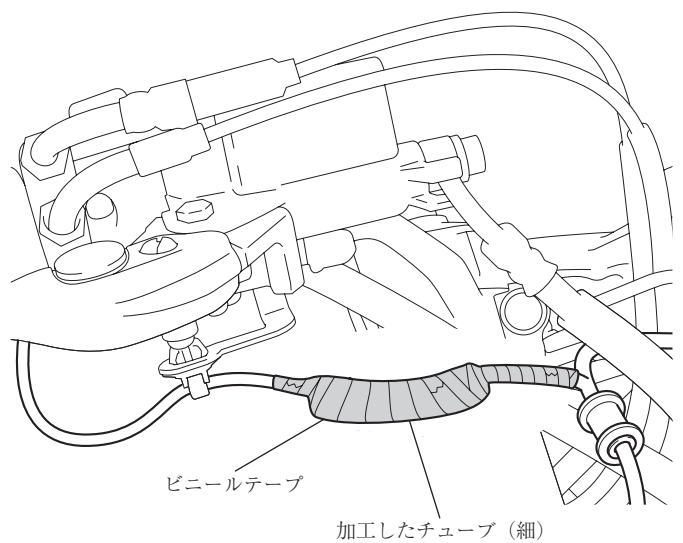
23) 図のように加工したチューブをかぶせる。




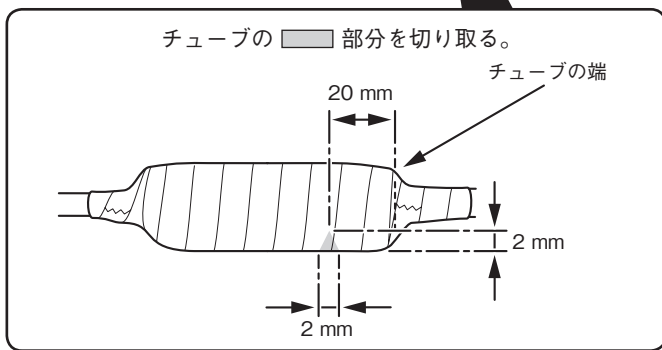
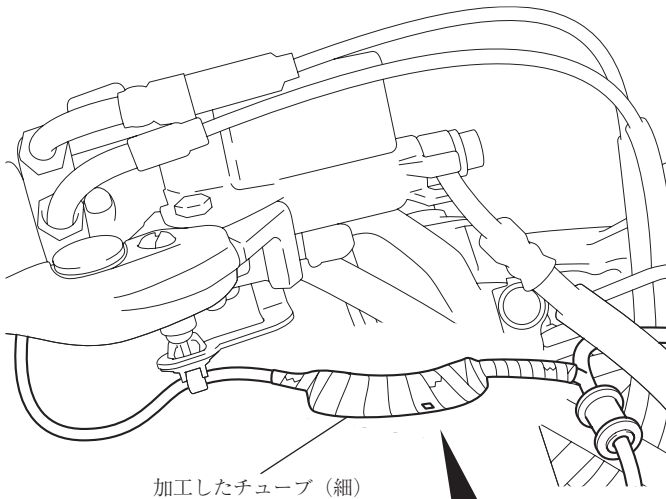
図のように接続した端子を中心にして、チューブの長さで右側グリップヒータハーネスを折り返す。



24) 図のようにチューブをテープで固定する。

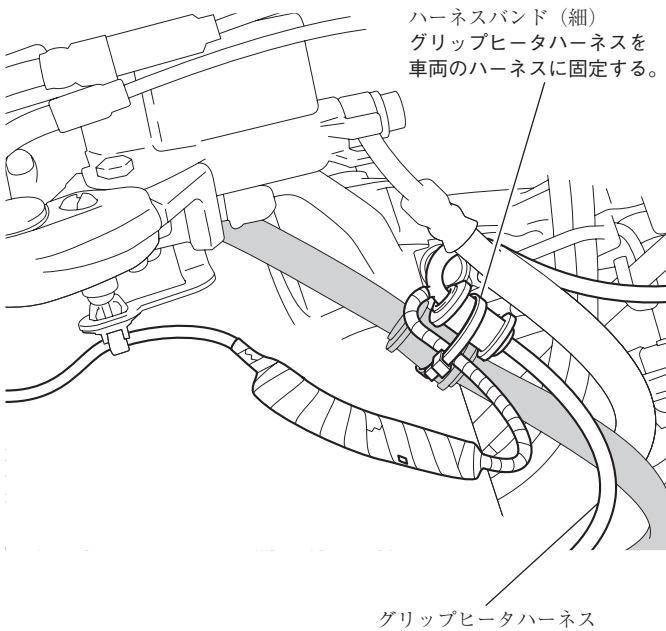


- 25) 図のようにチューブの  部分を切り取る。  
 ・ハーネスを傷つけないように注意してください。

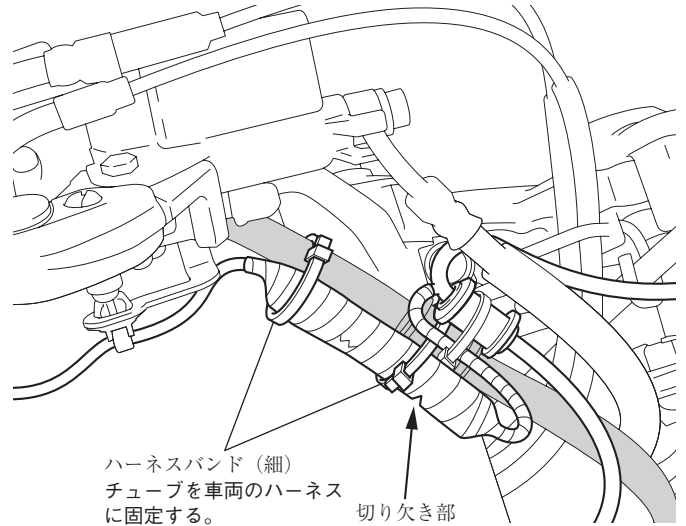


## 5. 各ハーネスの固定

- 1) 図のようにグリップヒータハーネスをバンドで固定する。

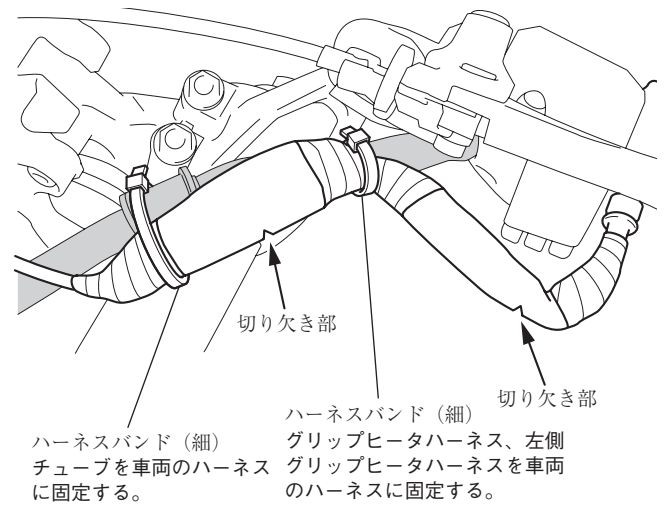


- 2) 図のようにチューブをバンドで固定する。  
 ・図のようにチューブの切り欠き部を下側に固定してください。



- 3) 図のように左側グリップヒータハーネス、グリップヒータハーネスをバンドで固定する。  
 ・図のようにチューブの切り欠き部を下側に固定してください。

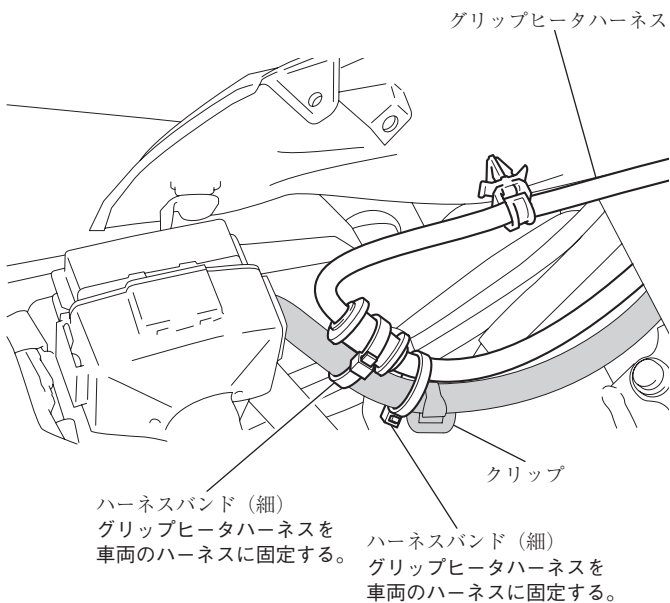
〈左側〉



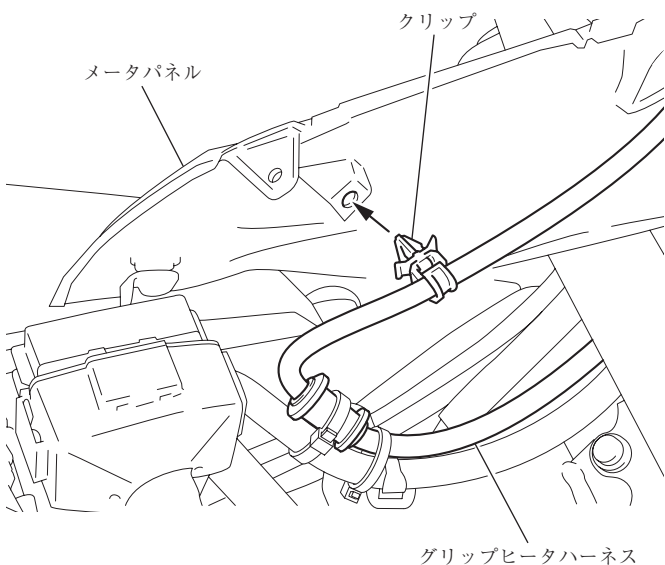


- 4) 取り外しの逆手順でメータパネルを取り付ける。
- 5) 取り外しの逆手順でフロントカウルを元に戻す。  
・ハーネスのかみ込み、引きつりがいいことを確認してください。
- 6) 図のようにグリップヒータハーネスをバンドで固定する。

〈右側〉



- 7) 各ハーネスの引きつりを確認する。  
・ハンドルを左右に動かし、ハーネスのかみ込み、引きつりがいいことを確認してください。
- 8) 図のようにクリップをメータパネルに取り付ける。



#### 6. 車両部品の取り付け

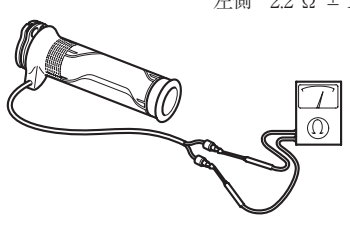
- 1) 取り外しの逆手順で取り外した車両の部品を取り付ける。  
・ハーネスのかみ込み、引きつりがいいことを確認してください。

#### 7. 取り付け後の確認

- 1) グリップヒータの作動およびスロットルの開閉、ヘッドライトなどの灯火器類の作動について確認する。

## 販売店様故障診断

◎ グリップヒータ作動確認以外の各部品、回路の点検はエンジンを停止し、メインスイッチを OFF にしてください。

不具合事象	確認内容
グリップヒータが作動しない。 ・グリップヒータの不良 ・グリップヒータコイルの不良 ・ハーネスの断線、またはショート	<p>① コード類（端子、カプラ）の結線は確実に行われているか？</p> <p>② グリップヒータの点検 端子間で各グリップヒータの抵抗を測定する。 標準値 右側 2.2 Ω ± 10 % 左側 2.2 Ω ± 10 %</p>  <p>③ ヒータハーネスの点検 導通検査を行う。</p> <p>④ 上記の①②③の点検で異常がなく、グリップヒータが作動しないときはグリップヒータの交換を行う。 ※スイッチは IC 回路が含まれているため通常の点検（導通点検等）での確認は困難です。</p>

## 配線図

